

CSR通信



平成20年1月22日

「グリーン購入シンポジウムin滋賀」開催！！ ～高田頭取がパネリストとして参加～

平成20年1月17日、雪の降るあいにくのお天気でしたが、約250名の聴衆が会場を埋め尽くし「グリーン購入シンポジウム in 滋賀」が、びわ湖ホール・小ホールで盛大に開催されました。

このシンポジウムでは、滋賀県のグリーン購入の一層の底上げを図るとともに、全国のグリーン購入活動を索引していくため、「第9回グリーン購入大賞」の滋賀県内受賞団体の様々な事例を紹介。

当行は、「環境経営」についての事例発表を行うとともに、高田頭取と嘉田滋賀県知事、他受賞団体3者がパネリストとして座談会に参加されました。



座談会は、「グリーン購入は地球温暖化防止の特効薬となり得るか？」をテーマに、それぞれのパネリストの立場から地球温暖化を考える、熱気溢れる討論会となりました。

高田頭取は、「環境活動は、それぞれの企業がサステナブルな（持続可能な）発展を遂げるための重要なテーマであり、前向きな投資である」と、お取引先さまの好事例を交えながら語りました。

また、高田頭取が本部長を務める、滋賀エコ・エコノミープロジェクトを紹介し、この滋賀の地から「地球温暖化防止をビジネスチャンスと捉える経済の仕組み」を日本、世界へ向けて発信していきたいと強調するとともに、洞爺湖サミットを控えた日本の果たすべき役割についても述べました。

